※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	経済活動と法	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	経済活動と法　新訂版　（実教出版）						
副教材等	経済活動と法　新訂版　問題集（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を学びます。
・経済社会における法の意義や役割について理解し、経済事象を法律的に考え、判断する能力を身につけます。

２　学習の到達目標

（１）ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解する。
（２）法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
（３）ビジネスを適切に展開する力の向上をめざして自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ビジネスの諸活動に関する諸問題について感心を持ち、その改善･向上をめざして意欲的に取り組むとともに、ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。	ビジネスの諸活動に関する諸問題の解決をめざして自ら思考を深め、基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、経済活動に関する基本的な法知識を習得し、それを適用して論理的に表現できる力を身につけている。	ビジネスの諸活動や社会生活を円滑に送るために欠かせない憲法や民法、商法の基礎的な事項を理解し、法を適用できる力を身につけている。
評価方法	レポート 提出物 発表内容	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容	定期テスト 小テスト レポート 提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1章　経済社会と法	1. 変化発展する経済社会と法		○			a: 経済活動や市民生活における法の存在を具体的に示すことができ、学習しようとしているか。 b: 文法の存在を通して、法の生成変更の可能性について考えられるか。 c: 法の適用と解釈を具体的に理解しているか。 d: 法の存在、法化社会について認識できるか。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容
	2章　権利・義務と財産権	1. 権利･義務とその主体 2. 物と財産権 3. 知的財産権		○		○	a: 生活の成り立ちが権利と義務にわけられ、その両面から考えられることを理解しようとしたか。財産権を法の側面から理解しようとしたか。 b: 具体的事例を権利・義務にわけて二面的に的確に表現できるか。財産権の内容として経済的利益が内包されるべきことを例示できるか。 c: なぜ犬や猫が権利の主体となりえないのか、人格の視点から論理的に説明できるか。 d: 人々の行動基準として、信義・誠実であらねばならないことを理解できたか。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容
2学期	3章　財産権と契約そしてその保護	1. 財産権と契約 2. 物の売買 3. 物の貸借 4. 契約によらない財産権の変動 5. 財産権の保護		○		○	a:、契約こそ経済活動推進のエネルギーであるということを確実に理解したか。 b: なぜ契約は自由であるべきなのか、なぜそれが原則であるのか、あるいは本来制限するべきなのか、自らの思考に基づき解答できるか。 c: 経済活動を起動させる契約、それを巡る諸事項を自分のものにできたか。 d: 日常生活の色々な場面で契約は結ばれており、契約を結ぶには当事者間でそれぞれの意思が相手方に正しく伝えられる必要があることを理解しているか。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容

※令和３年度以前入学生用

	4章　企業活動に関する法	1. 企業活動の主体 2. 営業活動の自由と制限 3. 株式会社と法			○	○	a: 経済活動を営業として行うことの制約などをきちんと理解し、将来設計に生かそうとしているか。 b: 営業活動を自由にする理由、また制限する必要はなぜなのか、自分なりの尺度を持てているか。 c: なぜ法定利率に差があったのか、根拠を明確に示すことができるか。営業制限にかかわる法律を答えられるか。 d: 商人の意義、企業活動の主体を理解しているか。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容
3学期	5章　取引に関する法	1. 手形･小切手と法 2. 金融取引			○	○	a: 手形・小切手の支払呈示、特に小切手の呈示期限の事例など、経済活動を敏速に行い代金返済の信用を保持するための法的規制は、生活の知恵として必須のものである。このビジネス上の重要機能の大綱を把握しているか。金融取引の現状と課題について興味を持ち、積極的に学ぼうとする。電子資金移動の現状と課題について興味を持ち、積極的に学ぼうとしているか。 b: 証券の要式性の所以など法的思考が身についているか。一般投資家の視点から、投資の際に、数ある情報の中からどれが重要な情報となるのかを考え、判断することができるか。 c: 金融商品取引法上の金融商品について、どのようなものがあるか列記することができるか。 d: 金融商品取引法、電子記録債権法、資金決済法の立法の背景を理解しているか。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容

※令和３年度以前入学生用

	6章　企業の責任と法	1. 法令遵守 2. 消費者と法 3. 労働と法 4. 紛争の予防と解決	○	○		○	a: コンプライアンスについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。消費者や労働者の立場で、それらを守る法律を実生活に生かそうとしている。 b: 法令を遵守して企業活動を行うことの重要性を理解し、そのためにはどのような仕組みが必要かを、自分なりに考えることができるか。立場の弱い人を守るため、法のめざす正義はどのようにあるべきなのか、学習を通して知識を身につけ発言できるか。 c: 法令に違反した企業活動の具体的な事例をいくつか挙げることができる。消費者や労働者を守るための法律や手続きを知っているか。 d: 法令遵守や説明責任の重要性について理解している。消費者や労働者として市民生活を行なう中で、生活の知恵を身につけたか。	定期テスト 小テスト レポート 提出物 発表内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。